

補助金チェックシート

(1)

①補助金名称		長岡京市内バス運行事業助成金								課内No.	1
事務事業名		バス利用促進				担当所属名		交通対策課			
②事業期間		始期	平成元年	～	終期	継続					
③補助金の分類【選択】		②事業補助				④性質【選択】		①市単独			
⑤予算科目		会計	01	款	08	項	02	目	03	細目	670
⑥根拠法令・規程		長岡京市内バス運行事業助成金交付要綱									
⑦必須業務の有無【選択】		無	内容		本市独自の事業						
⑧補助金開始前の状況 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		地元要望により新設された路線であり、利用者が少なくても路線の廃止は困難です。当該助成金は、運行経費から運賃収入を差し引いた金額の一部補填的要素が強いものです。									
⑨補助金開始後の変化 (市民ニーズ・地域課題・社会情勢)		路線バス事業者に対し運行助成を行うことで、当該バス路線が確保され、利用者の利便が保たれています。									
⑩補助金の目的		市内のバス運行事業を充実させるため、市内バス運行事業者に対し助成金を交付することにより、市内の公共交通網の充実を図ります。									
⑪補助金の内容	対象者・団体等	路線バス事業者									
	対象者・団体等が補助金で行う活動	路線バスの運行									
⑫補助金の成果 (誰にどのような成果があるか)		他に交通手段を持たない市民で、1日約130人程度の利用者がいます。									
金額(円)／年度		25年度決算		26年度決算		27年度予算					
⑬財源内訳	国庫補助金	0		0		0					
	府補助金	0		0		0					
	その他補助金	0		0		0					
	一般財源	3,675,000		3,000,000		3,000,000					
	合計	3,675,000		3,000,000		3,000,000					
	前年度比(今年度－前年度)	—		-675,000		0					
業⑭の団体 財務又は 容事	(団体運営補助の場合)団体の決算・予算 (事業補助の場合)事業の決算・予算	32,434,031		23,204,531		23,995,000					
	繰越金	0		0							
	市の補助金の割合	11.3 %		12.9 %		12.5 %					

補助金チェックシート

(2)

補助金名称(再掲)		長岡京市内バス運行事業助成金		担当所属名(再掲)		交通対策課		課内No.		1	
視点		点検チェックポイント				チェック・記述欄					
⑮ 必要性	市民ニーズや社会情勢の対応として、補助金目的が補助金の開始時点と比べて希薄化していない		はい								
	市において目的が類似した補助金がない		はい		—						
	補助金で行われる活動に対して、市が関与する必要がある		はい								
	市が補助金支出という手段で対象者・団体等に関与する妥当性がある		はい								
	法令、計画、通達などにより市の補助金の支出が定められている		はい		長岡京市内バス運行事業助成金交付要綱						
	市民の必要最低限度の生活の維持に関して、必要不可欠な補助金である		はい								
	市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響がある		はい		当該地域の公共交通の利便性が大きく低下します。						
⑯ 優先性	補助金の目的・内容・実施時期に緊急性が認められる		いいえ		—						
	補助金の支出により第3次総合計画第3期基本計画の重点テーマのいずれかを具体化させることができる		いいえ		—						
	補助金の支出により自治体間でのサービス内容に差がつけられたり、地域の魅力が増すことができる。		いいえ		—						
	施策として遅れており、弱点を補完する補助金である		いいえ								
	住民の参画または主体的な活動を促進する目的がある		いいえ								
	市民ニーズや社会情勢の多様化に対応するため、補助金の対象や内容について見直しを行っている		いいえ								
⑰ 公正 公平 性	わかりやすい情報発信を行っている		いいえ		—						
	補助金対象団体の会計担当者の押印ある決算報告書並びに第三者の会計監査を受けた書類等の作成、提出がなされている(※個人補助はチェックしなくてよい)		いいえ								
	公募制度を導入している		いいえ								
	補助事業者や団体において、適切な受益者負担を徴収している		はい								
	多くの住民、広い地域に還元する活動や事業である(※人口でおおよそ10%、地域で小学校校区程度)		いいえ								
⑱ 効 率 性	過去3年以内に補助金の内容・補助額等を見直した		いいえ								
	事業または団体に対する補助割合が半分以下であり、零細補助でない(※零細補助とは、5万円以下の補助)		はい								
	具体的に説明できる費用対効果がある		はい								
	補助金としての期限、終期を設定している		いいえ								
⑲近隣市町の状況【選択】		一部の市町が実施		他市町の事例		京田辺市					
⑳26年度の取り組み(昨年度)		路線バス事業者に対し運行助成を行うことで、既存のバス路線を確保しました。									
21)27年度の取り組み(今年度)		路線バス事業者に対し運行助成を行うことで、既存のバス路線を確保します。バス路線の利便性を向上するための運行補助金として、補助対象範囲の見直しを行います。									
22)28年度の取り組み(来年度)		路線バス事業者に対し運行助成を行うことで、既存のバス路線を確保します。事務事業の内容を整理し、次年度から当該補助金に関する事業を公共交通基盤整備事業に移管します。									
23)今後の方向性【選択】		現状維持		今後の取り組み		既存バス路線確保のため、路線バス事業者への運行助成を継続					
24)その他特記事項(留意事項など)		—									